



得意のフットワークで要求実現

No.163

まつお 正秀 のかわら版

自宅 能登町 12-58-412 能登レックスマンション Tel・Fax73-0775

携帯 090-6960-4570 議員団控え室 Tel35-3368 Fax22-7815

西宮議員団ホームページ（まつおの活動紹介あり） <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

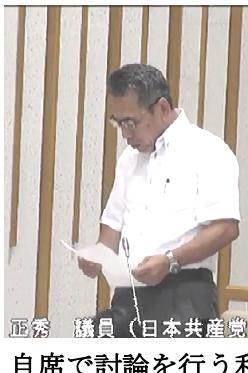
ブログはアメーバブログで「まつお正秀の雑記帳」です

9月議会は10月3日に本会議終了

議案討論と決算意見表明を私が行いました
今議会に施設使用料値上げ条例案が

今9月議会では前半に一般質問 私の質問は前号で紹介）や議案審査が行われました。その議案の中には公民館、市民館、スポーツ施設などの使用料値上げの為の17にものぼる条例案が提案され、党議員団は他会派とともに賛成多数で継続審査を求めました。

この値上げ条例案は以前、包括外部監査 第3者機関で中核市には義務付け）から、施設運営にかかる市の経費に対し、受益者（利用者）の負担が低すぎるという指摘がなされていました。市からはそれを踏まえて検討した結果の条例案だと説明が。しかし、利用団体



正秀 議員（日本共産党）
自席で討論を行う私

私が会派代表議案討論

の性格などによってこれまで使用料の減免を行つてきましたが、当局から今まで使用料の減免を行つて否決されてしまう恐り、我々としては単純な反対だけでは多数決による考え方には統一性がない、政策的に無料や据え置きにする施設使用料もあるなど、市提案の不十分な点が浮き彫りになりました。

採決結果は、公明党や市民クラブ改革」が継続審査に反対しましたが、後まだ予断は許しませんが、当局は改めて検討し直して提案することになります。

9月議会では毎年、議員団なども根拠は反対という立場ですが、9月議会では毎年、前年度決算審査も行われており、わが党の4人の議員それぞれが奮闘し、最終日の決算討論には私が立ちました。

本会議最終日にも討論

基本的には使用料値上げに反対という立場ですが、9月議会では毎年、議員団なども根拠は反対という立場ですが、9月議会では毎年、前年度決算審査も行われており、わが党の4人の議員それぞれが奮闘し、最終日の決算討論には私が立ちました。

困った時は日本共産党

上記まつお迄

活動報告は上記の議員団ホームページから

まつおの議会質問詳細（答弁含む）等は西宮市役所ホームページの「市議会会議録」検索で

党議員団提案の「国保」意見書可決

今議会では、わが党議員団が提案した「国民健康保険の安定運営に係る財政基盤の強化を国に求める意見書」を全会一致で可決。国保料の高さは全国的問題ですが、西宮でも毎年保険料が上がり続けて悲鳴があがっています。国保は当初農業者や自営業者が約6割でしたが、今では非正規労働者に加え、失業者や年金生活者など無職の人が多数です。高齢化と医療の高度化で医療費は膨らむ一方で、所得の低い加入者で保険料を割り算して算出しますから、当然保険料が毎年上がっていくのは当たり前。だからこそ、1984年まで国が半分近くを補助していく中で、今日ではそれが30%を切っているから、全国の知事会・市長会・町村委会が国に一兆円規模の財政支援を求めているのです。党議員団は6月議会で日米地位協定見直しの意見書も提案して可決されました。道理ある提案は少數によつてでも実現できることを、今回もまた示しました。

健康あれこれ 91回 高齢者の転倒

最近、米国では転倒が原因で死亡する高齢者が増えていると、同国などの研究グループが発表しました。研究グループは、米国内のデータを使って、75歳以上の高齢者の転倒による死亡率について、2000年～2016年の推移を調べてわかったそうです。転倒による死亡率は2000年が10万人当たり51.6人で2016年には122.2人に増加したとの事。また、高齢になるほど転倒による危険性は増したそうで、2016年で見てみると、75～79歳は10万人当たり42.1人だったのに対し、95歳以上では590.7人と大幅に増えたとの事。少しの段差でつまずくことなどがないよう、歳をとっても足腰の運動が欠かせないようです。

食べ物豆知識 153回 ゲノム編集食品Ⅱ

日本の消費者庁はこのほど、ゲノム編集食品の表示を義務付ないことを決ました。遺伝子組み換え食品は別の遺伝子を組み込むために、遺伝子の一部を切って壊すだけのゲノム編集食品とは違うと政府は言っています。しかし、この研究が本格化してわずか数年であり、破壊された遺伝子の影響で副作用が起こりかねないにもかかわらず、早々と安全宣言をしたような日本政府の対応は、日米貿易協定の最終合意を見込んだ「米国産農産物を輸入しやすくする狙い」が根本にあるのでは?

石井西宮市長が昨年の所信表明で掲げた「シチズンシップの醸成」。シチズンシップは市民性・市民権と訳されますが、市長が言いたかったことは市民に市政に関心を持つてもらって意見もいい、義務も果たしてくださいという事だとか、私流には解釈しました。しかし、これに反する事態が。それは名神湾岸連絡線の工事計画。これは名神高速と阪神高速湾岸線を高架の連絡道でつなげるというもので、わずか2kmで約700億円の計画。先日具体的なルート案が示され、その近隣住民への説明会が4か所で行われました。すべての会場で出された意見はほとんどが反対。石井市長はこの3月の施政方針で、この計画で地元住民に理解を求めるが、決まっていないのに推進の立場を表明していたのです。市民としての自覚」を言いながら、一方で国の計画を押し付けるやり方は、「シチズンシップ」に反するのではないでしようか。